

令和8年度 第1回刈谷市入札監視委員会 議事録

1 日時 令和8年8月7日（金） 13：30～15：00

2 場所 刈谷市役所 4階 401会議室

3 出席した委員（委員数4名）

委員長 井戸田 秀樹（名古屋工業大学 名誉教授）

委員長職務代理者 近藤 克麿（公認会計士）

委員 加藤 時彦（弁護士）

委員 國府 華子（愛知教育大学 教授）

4 出席した事務局職員（5名）

迫総務部長、深谷契約検査課長、神谷課長補佐、稲垣契約係長、村瀬主任主査

5 議題及び概要

（1）委員長の選出について

→互選により井戸田委員が就任。

（2）委員長の職務代理者について

→委員長の指名により近藤委員に決定。

（3）令和7年度工事契約状況について

→事務局より説明。

（4）契約工事の報告について（1月から5月分）

→事務局より説明。

（5）抽出事案の説明について

→抽出案件4件（一般競争入札3件、随意契約1件）を承認。

（6）その他

→事務局より以下の件を報告。

・経過表（登録業者の入札参加資格停止について）

・次回の審査事案の抽出担当者について →國府委員に依頼。

・次回以降の開催日について →第2回 令和8年10月26日（月）

6 主な質疑

質問・意見	回答
<u>議題（１）令和７年度工事契約状況について</u> Q：（委員）令和６年度と比べて、工事の総件数は増えたが、総額は下がったのはなぜか。	A：（事務局）令和６年度は例年に比べ高額 の工事の件数が多かったことから総額 が高くなっており、対して総件数は少な い状況であったことによる。
<u>議題（２）契約工事の報告について（１月から５月分）</u> Q：（委員）一般競争入札のうち、総合評価落札方式とする基準は何か。	A：（事務局）原則、予定価格を対象工事の 選定基準とするが、工事の内容も踏まえ て業者選定審査会で決定する。
<u>議題（３）抽出事案の説明について</u> ・ 案件１件目 刈谷駅北地区接続デッキ整備工事（週休２日） Q：（委員）一度不調になった工事の内容を見直して発注したが、本工事の着手が遅れることによる影響はないのか。 Q：（委員）２回目に行った入札は落札率が高いが、１回目の入札が不調となった要因は、金額面で採算が合わず業者が施工	A：（事務局）別発注のデッキ本体の工事が まだ施工中であるため、接続デッキの工 事着手が遅れることの影響は小さいと 考えている。 A：（事務局）お見込みのとおり。

できないと判断したことによるものか。 ・ 案件 2 件目 朝日幼稚園屋上防水改修工事（週休 2 日） Q：（委員）中東情勢の影響で、防水改修に必要な資材調達が困難と言われていたが、入札額が低かったのはなぜか。 ・ 案件 3 件目 （仮称）ぶんれい交流館建設（管）工事（週休 2 日） Q：（委員）1 回目の入札で参加業者がなく、不調となった要因は何か。 Q：（委員）建物を新築する際に、管工事等を別で発注しているが、建築工事一式を元請が受注して、その元請が管工事等を下請に出すのではないか。 ・ 案件 4 件目 南部配水場配水池築造工事（電気）（週休 2 日） （随意契約）	A：（事務局）入札時期に、建設資材の流通状況を踏まえ、価格変動に伴う変更協議に応じるという情報が出始めていたためと思われる。 A：（事務局）管工事事業者は、規模が大きい事業者が少なく、総合評価ではランクが高い事業者の点数が高くなる傾向にあるため、他の事業者が敬遠した結果と思われる。 A：（事務局）本市では、受注機会の確保のため専門の業種に分離して発注する考えから、建築工事、電気工事、管工事の 3 つに分けている。
---	---

Q : (委員) 本工事の配水場の設備を入れた事業者が落札業者か。また、最初に設置した時は入札をしたのか。	A : (事務局) 入札をしており、当該業者が落札している。
Q : (委員) 一般競争入札にした場合でも、結局落札業者しか入札はしないか。	A : (事務局) 落札業者しか応札しないと思われる。また、他の事業者が参加したとしても本市が求める工事はできないと考える。
※ 以上より、抽出案件 1 ～ 4 について、入札監視委員会として内容を承認することで決定。	